



# The GARDEN

## 現代日本画 — 四季折々の庭園 —

2024/9/17(tue) - 11/24(sun)

日本には、全国各地に当時の大名や将軍が造営を指示し、造園家や作庭家が造ってきた庭園が数多く存在します。それらの美しい庭園は、時を経た現在でも国の特別名勝として大切に維持管理がされており、その美しさが代々継承されています。現代を生きる日本画家たちは、全国の庭園を巡り、それらの名園から数多くの作品を描き、作品を通して美しい景観・文化を私たちに伝えていきます。本展では、郷さくら美術館のコレクションの中から「庭」をモチーフにした作品を展覧し、作家が巡ってきた庭園の美を紹介いたします。また、コレクションの中から作品を集め、郷さくら独自の庭園を造園し紹介いたします。本展にて様々な庭を巡っていただき、美しい日本の文化と日本画表現をどうぞお楽しみください。

### 【出品作家】

伊藤彰耳、黒光茂明、佐藤 晨、澁澤 卿、武田裕子、田島周吾、中川 脩、中島千波、林 潤一、平松礼二、牧 進、松村公嗣、森田りえ子、渡辺信喜 他(五十音順)

同時開催

### 桜百景 vol.37

「桜百景 vol.37」展は、企画展に合わせて「桜の庭」と題し、神社仏閣やお城の桜を描いた作品12点を展示いたします。桜花と華やかな庭園の風情をお楽しみください。

### 【出品作家】

荒井 孝、伊藤はるみ、角島直樹、常岡幹彦、中川 脩、野地美樹子、柳沢正人、渡辺信喜 他(五十音順)

掲載作品(上から時計回り):  
田島周吾《黒斑犬腹掻キ・黒猫耳掻キ図》2017年  
中川 脩《毛越寺 浄土庭園》2023年、佐藤 晨《秋彩 三千院》2007年、森田りえ子《秋華》2000年

表面(上): 武田裕子《日と月の庭》2023年  
(下): 林 潤一《四季樹花園》2001年

### 学芸員による ギャラリー・トーク

10/19(土)・11/2(土)  
各日14時より開始  
予約不要・参加無料

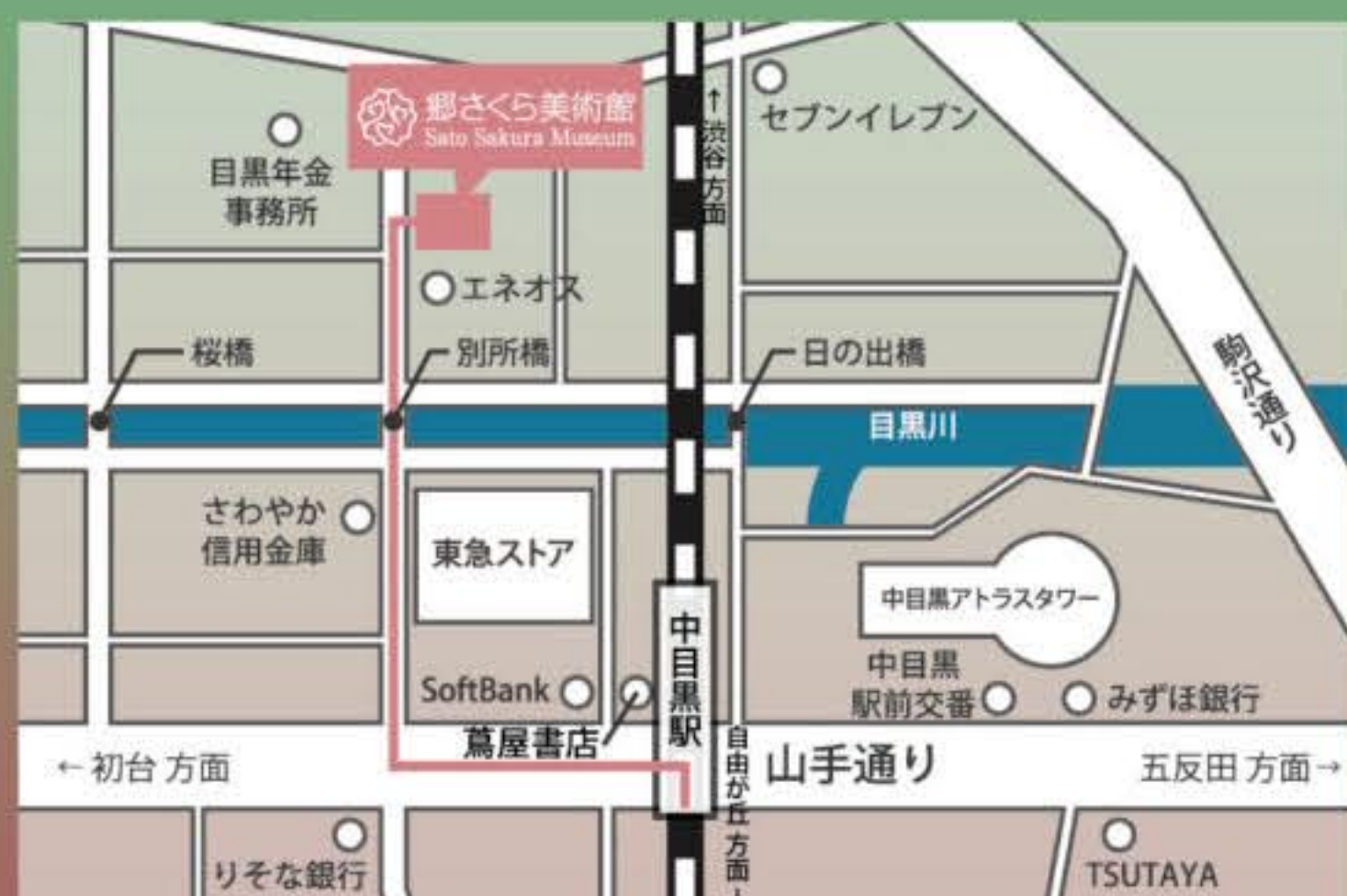
### 音声ガイド

お手持ちのスマートフォン・イヤホンを使用して無料で作品解説をお聞きいただけます!

- ※ 音声ガイドのご利用はアプリ「ポケット学芸員」のダウンロードが必要となります
- ※ 機器のレンタルは行っておりません
- ※ 全ての作品には解説はついておりません

### 初公開!

中川 脩《毛越寺 浄土庭園》  
2023年



東急東横線・東京メトロ日比谷線中目黒駅徒歩5分

入館料	一般	大高生	中学生以下無料
	800円	300円	小学生以下は要保護者同伴

【開館時間】 10:00~17:00(最終入館 16:30)

【休館日】 月曜日(但し9/23・10/14・11/4は開館、9/24・10/15・11/5 振替休館)

【主催】 郷さくら美術館 【後援】 一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会

郷さくら美術館  
Sato Sakura Museum

〒153-0051 東京都目黒区上目黒 1-7-13  
TEL.03-3496-1771 FAX.03-3496-1772  
https://satosakura.jp

web



twitter



instagram



次回 2024/12/7(土)-2025/2/24(月) 郷さくら美術館 特別展 那波多目功一の世界

この部分を切り取ってお持ちください  
※本展覧会のみ・他の割引との併用不可

入館料  
100円割引